

「ポケット」だより



2023年
夏号

「そのアルバイト、大丈夫？」 ～知っていますか？「JKビジネス」問題～

近年、女子高校生等によるマッサージ、会話やゲームを楽しませるなどの接客サービスを売り物とする営業が見られ、「JKビジネス」と呼ばれています。

一見すると問題のないアルバイト先に見える場合でも、女子高校生等が客から児童買春等の被害にあうなどのケースが目立っており、安易に働くことはとても危険です。また、スカウトやプロダクションとの契約の際には「モデル」「タレント」などと言われ、アダルトビデオへの出演の仕事があることを説明しないこともあります。

「JKビジネス」に係る各種トラブルにあった際は、全国に設置されている警察相談専用窓口「#9110」や近くの警察署・交番等に相談しましょう！

京都府では、性暴力にあわれた方を支援するための相談窓口が設置されています。

・京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター「京都SARA(サラ)」

相談電話 075-222-7711

相談時間 24時間365日(22:00～翌10:00は夜間休日対応コールセンターにつながります)

緊急の場合は110番

♪第26回京田辺ふれあい夢フェスタが開催されました♪



「京田辺ふれあい夢フェスタ」は、男女共同参画社会をめざして、市内の市民団体を中心に実行委員会を組織し、関係団体の協力のもと毎年行われています。今年は6月24日(土)に「学んで認めて かなえよう！ひとりひとりの夢や希望を！」をテーマに開催されました。オープニングは、コーラスグループによる「ふれあい夢フェスタの歌」、「mamaMUSE」による演奏が行われました。また、各実行委員団体による体験コーナー、手づくりふれあい夢市、パネル展示、クイズラリー等が行われ、多くの参加者で会場全体が盛り上がりました。

さまざまな分野における男女共同参画を推進するため、性別にとらわれず個性を發揮し、活躍している人を紹介します。



▲（一社）ドゥーラ協会認定産後ドゥーラ
仲野 郁代（なかの いくよ）さん

—趣味は—
色々なことに興味があるので、パンを作ったり、歌を歌ったりしています。最近の楽しみは、こうじを使つて料理を作ったり、仲間と一緒に山登りをすることです。

—産後ドゥーラの活動内容は—
ドゥーラとは、キリシヤ語が語源で、ほかの女性を助ける経験豊かな女性」という意味です。産後ドゥーラは、産前産後の母親に寄り添い、家事や育児をサポートし、話し相手にもなります。産後の母親はホルモンのバランスも崩れてメンタルに力をつけていきます。

—産後ドゥーラになつたきっかけと経緯は—
京田辺市立幼稚園を退職し、今後の生き方に迷つていた時、ハートシスターのマッチングサイトにて産後ドゥーラという項目を見つけたことがきっかけです。調べれば調べると、自分に合っていると感じて目指すようになりました。ドゥーラになるための研修がちょうど翌月開催だったので、通常は東京で開かれていた授業がコロナ禍でオンライン授業となったなど、タイミングと条件が合ったので、ドゥーラの資格を目指しました。

—活動の中で嬉しかったことは—
人と人の縁がでるのが嬉しいですね。最初は緊張気味だったお母さんや、目を追つたことに打ち解けてくれてサポートを終えるのは、仲野さん

のおかげで、産後安心して過ごせたことと感想をいただく瞬間は本当にやり甲斐を感じます。

—活動の中で大変なことは—
地方ではあまりドゥーラの知名度がないので、資格を取つてから、活躍の場を広げるのが大変です。現在は良き仲間にも恵まれますが、始めた当初は一人で広報活動をしなければならず不安でした。

—仕事のスケジュールは—
夕方から子どもを寝かすまでの時間帯が一番困つているお母さんが多いので夕方から7～8時までの間に「家庭に伺つこと」が多いです。「飯のサポートを依頼されるご家庭であれば、午前中に伺つて一度家に帰り、また夕方から伺つこともありますし、夕方のみ伺う場合もあります。

—口頃心がけてほしいことは—
産後のお母さんに優しい気持ちで向きあつたため、心身の健康に気をつけています。

—今後の目標は—
働き方の変化や晩婚化が進む中、産婦の親が仕事をしていたり、高齢であったり頼れないケースが増えています。そのため、産後の直接的な支援のニーズは今後ますます高まると感じています。活動の幅を広げ、これまで手が行き届いていなかった方々までサポートしていきたいと考えています。出産は命をつなぐ大事業なので、人に頼ることをためらわず、授乳以外はどんな人かの手を借りて、皆で子育てができれば良いと思つています。

自身も4人の子をもつ母として Doula Station 小春日和を立ち上げ、京田辺市初の産後ドゥーラとして活躍している仲野さん。これからますます多くの家庭の心強い味方であり続けたい。

☆ 京都府女性の船の研修に参加して ☆

京都府女性の船は、船を活用した研修でコロナ禍により4年ぶりの実施となり、女性が地域や職場で活躍するために地域・職場の身近な課題について共に学び、仲間づくりをするために京都府が実施している研修です。令和5年6月2日～5日、「第41回京都府女性の船」に京田辺市から2名の方が参加されました。今回は、中村三千代さんに研修の感想と今後の抱負についてお聞きしました。



ワークショップの様子

私が希望したテーマ「女性と人権」について班員5名でジェンダーバイアスの解消に向けてどのようなことができるかを模索し、アイデアを出していく過程で班員の気持ちが合わさり調和が生まれました。各々がこれまでの人生において違和感を持ち続けてきたことは、今後男女平等の社会を作り上げる上で貴重なヒントとなることを確信しました。

今回出会った私達が時間を共有し、共に作り上げていく研修は、生涯で貴重な経験であり価値あることでした。この経験を単なる思い出に終わらせることなく、男女共同参画社会の実現のために、少しでも役立たせていきたいと思つています。



「女性の相談室」より



ひとりで悩んでいませんか？

フェミニストカウンセリングでは、女性の抱える悩みの解決に向けて、女性のカウンセラーが丁寧に話を伺い、あなたとともに考えていきます。

京田辺市
女性交流支援ルーム
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間
月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

▷相談（定期分） 場所 女性交流支援ルーム
8月 3日（木）・8月17日（木）・8月25日（金）・9月7日（木）
9月21日（木）・10月5日（木）・10月19日（木）・10月27日（金）
①13:30～ ②14:30～ ③15:30～

▷臨時相談（夜間分） 場所 女性交流支援ルーム
9月22日（金） ①17:00～ ②18:00～ ③19:00～

▷法律相談 場所 女性交流支援ルーム
8月23日（水）・9月27日（水）
①13:30～ ②14:00～ ③14:30～
10月25日（水） ①15:30～ ②16:00～ ③16:30～

ご利用にあたり、予約が必要ですので、「女性の相談室」にお電話ください。料金は無料です。

情報ライブラリー 本・DVDの紹介

情報ライブラリーでは、各種情報や資料を収集し、男女共同参画に関する図書、DVDの貸し出しをしています。その一部をご紹介します。お気に入りの一冊が見つかるといいですね。



本

「20歳のソウル」
中井 由梨子 著

作曲家になること、恋人との結婚…。たくさんの夢を抱えたまま、浅野大義は肺癌のために20年の短い生涯を終えた。告別式当日、164名の高校の吹奏楽08たちが涙で演奏する大義が作曲した市立船橋高校の応援歌。「市船soul」。人生を精一杯生ききった大義のための1日限りのブラスバンド。関係者の証言で描く感動の実話ストーリー。

「60歳すぎたらやめて幸せになれる100のこと」
TJ MOOK

人生のエンディングを悔いなく飾るために、60歳をすぎたら大事になってくる「やめること」「捨てること」「離れること」を徹底紹介。兄弟、子ども、友人との「距離の取り方」「縁の切り方」や「リフォーム」「引っ越し」はしないなど、軽やかに生きていくコツを教えます。



DVD

「ショコラ」

すべての人を幸せにしてしまう不思議なチョコレートを作る母娘の物語

監督 ラッセ・ハルストレム

出演 ジョニー・デップ

ジュリエット・ピノシュ

フランスの小さな町に謎めいたヴィアンヌが娘とともにやって来た。伝統と規律を守り、日々静かに生活を送るその町で母娘はチョコレート・ショップを開店する。見たこともない美味しそうなチョコレートで溢れた店、人々は自分の好みにピタリとあわせて勤められるチョコレートの虜となる。だが、古き伝統を守ろうとする町の指導者の反感をかけてしまう。

図書はこのような分類して所蔵しています。

・からだ・こころ
・家族・子育て

・生き方
・仕事

・暴力（DV・性暴力など）
・男女共同参画・女性学・男性学

・絵本・シリーズもの など

初めての方は「貸出券」をお作りします。借りたい図書・DVD等を交流スペースにお持ちください。ぜひ手にとってご覧ください。

貸出券 →



情報ライブラリー

図書等を借りることができます！

市内在住・通勤・通学の方なら、どなたでも図書等を借りることができます。

図書は、お一人2冊2週間まで

ビデオ（DVD）は、お一人1本1週間まで

※くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

交流スペース

市民のみなさんの交流の場等に
ご利用できます！

情報ボックスのご利用については、登録が必要になります。

※団体やグループでの利用について、くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

「女性の相談室」

女性が生きていく中でのさまざまな悩みをお聴きし、あなたとともに考え、次の一歩を踏み出すためのお手伝いをします。一人で悩まず、安心して、ご相談ください。秘密は厳守します。

一般相談（予約不要）

月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

専門相談（要予約）

（フェミニスト・カウンセリング）

毎月 第1・3木曜日
偶数月 第4金曜日
午後1時30分～4時30分

法律相談（要予約）

毎月 第4水曜日
（祝日の場合は第3水曜日）
午後1時30分～3時

料金は無料です。まずはお電話ください。

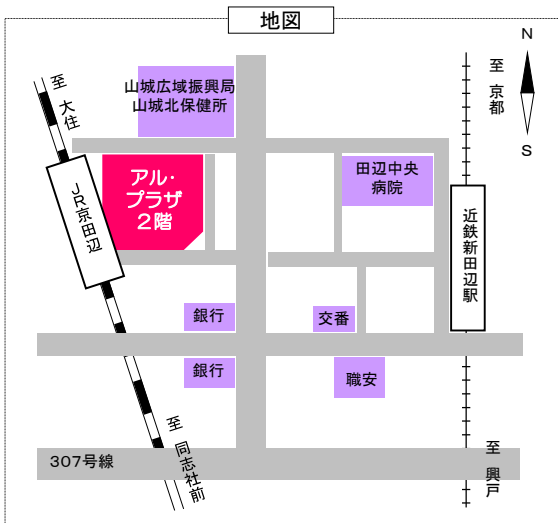
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間

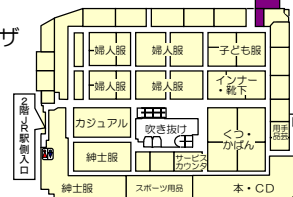
月曜日～金曜日
午前10時～午後5時



アクセス

JR 京田辺駅すぐ
近鉄 新田辺駅 徒歩5分
（アル・プラザ京田辺2階）

アル・プラザ
平面図



こちらが
女性交流支援ルーム
「ポケット」です。

開室日

開室時間

休室日

月曜日～金曜日

午前10時から午後6時まで

土・日・祝日 年末年始

アル・プラザ京田辺休業日

京田辺市 市民部 人権啓発推進課

京田辺市女性交流支援ルーム「ポケット」

TEL/FAX 0774-65-3709（直通）

〈相談専用〉 TEL 0774-65-3727

愛称「ポケット」は、小さいけれど、いつでも情報が取り出せ、誰もが集まりやすい場所という意味で一般公募により名付けられました。

